



私たちは、地域から強く信頼される病院を目指します そのために、誠実で前向きで勤勉であるよう努めます

次

20 👤 12
第24号
広報誌/年4回発行
発 行:国立病院機構 宇都宮病院
発行日:平成 24年 7月 1日
新聞者:沼 尾 利 郎

■電子カルテ導入に向けての想い · · · · · · 1

- ■職員の永年勤続表彰について ・・・・・・・・ 5
- 地域医療連携室について ・・・・・・・・ 2 第37回ふれあいスポーツフェスティバル ・ 6
- ■看護の日記念行事を実施して・・・・・・・・3 ■ホームページのリニューアルについて・・・・6
- リハビリテーション科の今後の展望・・・・ 5

電子カルテ導入に向けての想い

事務部長 山浦康弘

当院では、平成25年1月からの電子カルテ導入を目指し、全職員で具体的な活動を進めていく時期になってきました。今までの活動も含め、これからの活動への想いを述べたいと思います。

宇都宮病院が4年間連続での黒字経営となる中で、投資の遅れが顕著に出ている部分が「建物とIT投資」であります。そこで病棟建替や電子カルテ導入となったわけですが、これから半年が、電子カルテを導入して良いシステムになるか否かの、本当に重要な時期になると考えています。



導入予定の電子カルテは、5月17日にHISベンダー(電子カルテの中心をなすシステムの業者)が(株)医療情報システムとなったことから、富士通のイージーメイン(EGMAIN)一LXを導入することとなりました。これは、獨協医科大学病院のような大きな病院が導入している富士通GXと、私が経験のあるNHO甲府病院のような中規模病院が導入しているEXの中間機種であり、よりGXに近いと説明を受けています。ですので、内科系の多くの先生方は操作にある程度慣れているのではないかと思われます。そして、当院には電カルを良く知る増田診療部長や多くの導入経験がある加藤薬剤科長もおり、職員の皆さんも積極的な姿勢を見せていただいているので、スムー

ズな導入に心配はしていませんが、かといって未経験の職員が多いことや導入に向けての人員体制など万全な体制とは言えない状況もあります。そこは、事務部門が幹部会議などにいろいろな提案をして、病院として十分な体制を整えながら、導入への重要な期間を迎えるよう努力したいと思います。

この紙面を借りて職員の皆さんにお願いしたいことがあります。それは、使いやすい電子カルテとするためにはこれから半年、全員が積極的に取り組んでいただきたいということです。各部門のマスターの整備や使いやすくするためのセットの登録など、やればやるほど導入後の使い勝手がよくなるからです。そして、練習のためのデモ機を十分用意しますので、是非たくさん練習をしてください。一般的なソフトである「ワードやエクセル」も、その機能を知れば知るほど使えば使うほど便利になります。それとまったく同じとは言いませんが、たくさん練習し機能を理解し、自分たちが楽になるセットを多く登録すれば、必ず、業務は効率的で楽になります。そうでなければ大きな金額を投資する意味がありません。

来年の今頃は、電子カルテが身体の一部となり、職員一人一人の右腕・左腕となり、更に、助手ができたような気分になっていることを想像し、これから半年、職員全員で電子カルテ導入に向け一緒に頑張っていきましょう。

最後に、決定したHISベンダーをはじめ部門ベンダーの 人達は、電子カルテ導入に向けての当院のパートナーです。 電子カルテや部門システムの機能を十分に知るベンダーと 業務内容を十分に知る職員とが協力し合い、我々が分から ない部分はベンダーにどんどん聞き、業務で重要な部分は 積極的に説明し、進めていただければと思います。

私たちには、病棟建替や次の段階の整備のこともあります。電子カルテ導入に集中するのは今から半年間として、その後は次のプロジェクトに力を注いでいくこととなります。どうぞよろしくお願いいたします。



地域医療連携室について

地域医療連携係長(看護師長) 塩澤田香

当院は、地域の中で効率的で良質な医療を提供するために地域医療機関との連携強化の体制作りに取り組んでいます。そのひとつとして、地域医療機関との連携や退院調整業務を行う「地域医療連携室」の充実強化を進めています。4月からはMSW(ソーシャルワーカー)と看護師が増員され、現在、地域医療連携室長の増田診療部長のもと、係長1名、MSW3名・看護師2名・事務2名で業務を行っています。

業務内容は以下の通りです。

● 医療連携部門

• 紹介患者さまの受付

(連携医*・地域医療機関からの診療依頼に対応し、患者さまの紹介・逆紹介・緊急の受け入れ強化を軸に地域医療の向上に努めています。)

- 入退院調整
 - (紹介患者さまの入院ベッドの調整、入院患者さまの退院支援・調整をお手伝いします。)
- ダイレクト予約の窓口:大型医療機器 (MRI・内視鏡検査) の共同利用の実施を行っています。 (連携医(かかりつけ医) からの電話予約により、当院で検査を実施し検査の説明はかかりつけ医より 受けることができます。)
- 「症例検討会」や「市民公開講座」を企画し地域の先生方との連携・交流と地域住民の 方々に対する啓蒙活動に努めます。
- * 連携医(制度): 当院では、患者さまが「かかりつけ医」をお持ちになり、当院での診療が終了した患者さまには地域の医療機関の先生方に紹介をしていくことを啓蒙することとしております。そして、当院からご紹介する際に、「連携医」の先生方に紹介し患者さまが「かかりつけ医」をお持ちになり、途切れなく医療を受けられるよう、また連携医の先生方からの紹介患者さまを当院医師と先生方との両者でフォローし連携をとっていきます。

● 医療相談部門

- 療養・入院・退院・施設入所に関する相談をお受けしています。
- 医療・保健・福祉に関する相談をお受けしています。

6月には正面玄関横に「地域連携室」が増設されました。より患者さまと密に関わり、患者さまが安心して入院療養でき、また安心してご自宅・地域医療機関へ戻れるようにお手伝いしていきたいと思います。



地域連携室窓口



スタッフ



看護部行事委員長 看護師長 岩 崎 文 子

毎年、ナイチンゲール生誕の日(5月12日)を記念して、看護の日のイベントを行っています。今年も5 月15日(火)ヨークベニマル御幸ヶ原店のご協力をいただき開催しました。当日は朝から小雨の降るあい にくの天候でしたが、約100名の方々が参加されました。「NHO宇都宮病院はあなたの健康をサポートし ます」をテーマに、内科医師・歯科医師・栄養士・薬剤師が担当した健康相談コーナーと、骨密度・体重、体脂肪・ 身長・血圧やフットケアを行う測定コーナーを設けました。ポスターを病院内やヨークベニマル店内、コミュ ニティープラザなどの地域周辺に掲示させていただいたことで、「ポスターを見てきたよ」「今年も楽しみに していた」と声をかけていただきました。測定コーナーでは、骨密度が好評で、順番待ちをされる方が多く 測定結果によっては、栄養相談や医療相談を受けられる方もいました。測定結果を用紙に記入し、数値の意 味を説明することで安心される方が多く、笑顔で「ありがとう」と言っていただきました。健康相談コーナー では、約30件の相談があり、ご自分の病気のことや内服薬、食事療法についての相談がありました。相談 は1対1で行われ、ゆっくり時間をかけてお話ができたと思います。

当院を知っていただくことも記念行事の大切な目的です。アンケートでは65%の方が当院を利用された ことがあると回答しましたが、測定時に「一般の患者さんが受診できることを知らなかった」と言う方もい ました。今回の行事で病院を知っていただき、診療科や受診方法を伝えることができました。これからも一 人ひとりの患者様を大切にし、「宇都宮病院に受診して良かった」と言ってもらえるように努力していきたい と思います。

また、皆様に各病棟や手術室、外来、地域医療連携室を知って頂くために、紹介ポスターを病院中央廊下 入口にて展示致しました。病棟で行っている看護ケアやスタッフ紹介をそれぞれが工夫を凝らして描いてい ます。病棟の雰囲気がよく伝わる作品に仕上がったと思います。多くの方が立ち止まって見てくださってい ました。



相談コーナー様子





測定コーナー様子



西1病棟 西2病棟

西5病棟

西3病棟 西6病棟

東2病棟 東5病棟 東6病棟

地域医療連携室 手術室 外 来

リハビリテーション科の今後の展望

理学療法士 廣田寿江

平成 24 年 4 月に、リハビリテーション科では大きな変化がありました。まず、国立国際医療研究センター国府台病院より真部幸さんが作業療法士長として異動されてきました。そして、PT2 人、OT1 人、ST1 人の計 4 人が増員となりました。そこで、この変化に伴い、私たちリハビリテーション科で提供する医療サービスの量や質の向上といった、今までできなかったことへの取り組みに関する考えについて、紹介させていただきます。

今回のリハビリテーション科増員に伴い、各患者様の訓練回数を増やす、1回の訓練時間を長くすることで内容の充実を図るなど、今まで以上にその方のニーズに合わせたリハビリテーションを提供していけるようになると思います。そして、今まであまり関わりを持つことのできなかった重症心身障害児(者)病棟でのリハビリテーションの機会を増やし、患者様ご本人だけでなくご家族の方とも少しずつ関わりを深められればと思います。

また、間接的ではありますが、 増員によりスタッフの研修会・勉強 会への参加の機会が増えることが 予測されます。スタッフ各々が積極 的に研修会等へ参加し、そこで得 られた知識や技術を実際の訓練場 面に生かし、より質の高いリハビリ テーションが提供できるよう努力し ていきたいと思います。

今後とも、リハビリテーション科 をよろしくお願い致します。



職員の永年勤続表彰について

平成 24 年度、7 名の職員の方が永年勤続表彰を受けられました。30 年表彰が 4 名の方、20 年表彰が 3 名の方です。

国立病院時代からご苦労された方々で、当院の平成 5 年の統合の経験がある方もおられます。本当に長い期間お疲れ様でした。今後も、当院の発展のため今までの経験を活かし、活躍していただけるものと確信しております。



表彰者・後列左から

赤川一則様 (西5病棟)

堀内美宝子様 (東2病棟)

影山さち子様 (小児科)

表彰者・前列左から

鈴木京子様 (西5病棟)

電田ゆきえ様 (看護部長室)

古川政雄様

古川恭子様 (療育指導室)



第37回ふれあいスポーツフェスティバル

療育指導室 児童指導員 平山剛史

重症心身障害病棟(西5病棟・西6病棟)では、5月23日(水)に毎年恒例の一大行事、「ふれあいスポーツフェスティバル」が病院隣の岡本特別支援学校の体育館で行われました。利用者さんとご家族、病院職員、学校職員、ボランティアを含め、180名以上の参加がありました。利用者を中心に「障害物競走」や「パン食い競争」、「創作衣装を使った競技」など、たくさんの応援と笑い声が飛び交いながら、各病棟それぞれが一致団結して優勝を目指しました。仮装の競技では、ご家族や病院職員、学校職員も扮装し、それぞれの役になりきり楽しむ姿が見られました。家族の会会長は昨年のバニーガールに引き続き、今年はシンクロ選手のいでたちで、会場をわかせてくれました。結果は、白組(西5病棟)の優勝でした。しかし勝ち負けよりも、みんなで力を合わせて一つのことをやり遂げ、たくさんの笑顔とともに楽しめたことが一番良かったと思います。

最後に、「ふれあいスポーツフェスティバル」にご協力下さった関係者の皆様に感謝申し上げます。 また来年も引き続き、皆さんと楽しく盛り上がる行事にしていきたいと思いますので、よろしくお願い致します。







ホームページのリニューアルについて

宇都宮病院ホームページのリニューアルを行いました。 患者さま及び医療機関の方々により使いやすく、より わかりやすいものとなるよう、従来のホームページから 全面的に構成を見直しました。

診療情報や市民公開講座等などの最新情報を随時ご案内していきます。今後とも宇都宮病院ホームページをご利用くださいますようお願いいたします。

また、リニューアルにあたり、ホームページのアドレスが下記のとおり変更になっております。ブックマーク等に登録されている方は、お手数をおかけしますが変更をお願いいたします。



ホームページアドレス【 http://www.un-hosp.jp/ 】

編集後記

暑い季節になりました。夏にさっぱりしたものばかり食べていると、夏バテになりやすくなります。万葉集の大伴家持の歌に「夏痩せには鰻がよい」とあるように、夏バテ予防の代表格とされるのは「うなぎ」ですが、残念ながら今年は高価なようです。この時期の昔から食養生のならわしには、うなぎの他に、土用餅、土用しじみ、土用卵などの言葉があります。バランスよく食べて暑い夏をのりきりましょう!!

栄養士 柴崎容子



表紙撮影:矢野裕子(看護師)

外来診療担当医表

(平成 24年 7月 1日現在)

診療科名	i	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科(初診·予約)外)	沼尾 利郎/ 吉川弥須子	梅津 貴史	安西真紀子	滝澤 秀典/ 沼尾 利郎	﨑尾 浩由
糖尿病·内分泌内科	午 前午後	佐藤 稔 佐藤 稔	森 豊 友常 孝則	友常 孝則	佐藤 稔 佐藤 稔	田中精一
神 経 内 科	午 前午後	伊藤 雅史			大内 慶太 大内 慶太	
消化器内科	午前午後	星野 孝文 星野 孝文	菅谷 洋子 菅谷 洋子	紀 仁	眞島 雄一	菅谷 洋子 菅谷 洋子
循環器內科	午前午後	西野節	伊藤 致	柴田 佳優 柴田 佳優		伊藤 到(2·4週) 伊藤 到(2·4週)
呼吸器内科	午前	池田直哉	沼尾 利郎 沼尾 利郎	滝澤 秀典	野村 由至	吉川弥須子
呼 吸 器 内 科	午 後	池田 直哉	梅津貴史	滝澤 秀典	野村由至	后川が須丁/ 﨑尾 浩由
腎 臓 内 科	午 後				岡田和久(2:4週)	
小 児 科	午後		影山さち子 (予防接種) [予 約 制]		影山さち子 子供養育相談ルーム [予約制](第2・4)	
小児神経外来	午 後	奥野 章(3週) [予約制]				
外科	1 診 2 診	増田 典弘 伊藤 知和	伊藤 知和 大塚 吉郎	滝田 純子 増田 典弘	増田 典弘 山口 悟	伊藤 知和 木村 明春
整形外科	1 診	田中 孝昭	茶薗 昌明 (初診のみ)	熊谷(第1·5週) 田中(第2·3·4週)	茶薗(第1·3·5週) 石川(第2·4週) (初診のみ)	熊谷 吉夫
	2 診	加藤 基樹		加藤(第1·5週) 茶薗(第2·4週) 熊谷(第3週)		加藤 基樹
(整形外科]				熊谷(第1·5週) 田中(第2·3·4週)		
リハビリテーシ 装 具 外	ョン科 来	田中孝昭		茶薗昌明	茶薗昌明	熊谷 吉夫 熊谷 吉夫
歯 科(入院患物忘れ外来(午後・う	者のみ)		渡辺 裕子	渡辺 裕子 伊藤 雅史	渡辺 裕子	渡辺 裕子
禁煙外来(午後・う				17 0水 7年又		沼尾 利郎 松原 忠之/
眼 科(午後・う	予約制)					永田万由美/
皮膚科(午後・う耳鼻咽喉科(午後・う		久保木章仁	小田佐智子			和泉田真作

一 外来受診案内 一

- 初診及び予約のない方の外来診療受付時間は、8:30~11:00迄です。 緊急で来院される場合は、電話でお問い合わせ下さい。
- 眼科・皮膚科・耳鼻咽喉科・物忘れ外来・禁煙外来は、地域医療連携室にて電話予約を受け付けています。
- 地域医療連携室 TEL 028-673-2374(直通) FAX 028-673-1961(直通) 担当(ソーシャルワーカー): 永山悦子・宇梶多恵(内線133)



国立 機構 宇都宮病院 http://www.hosp.go.jp/~utsuno/

〒329-1193 栃木県宇都宮市下岡本町2160 TEL 028-673-2111 FAX 028-673-6148